

①個別データシート

種類 製品

英名 chop of beef

整理番号: JP305040

分類 食料品

和名 牛部分肉

・GHG排出量 2.53E+01 kg-CO2e/kg

・情報源分類 その他調査データ

・技術記述子 牛部分肉(含輸入)

・技術の内容と機能 (牛生体)～と畜～部分肉製造
主要原材料:肉用牛、乳廃牛、牛輸入枝肉
主要産出物:牛部分肉

・情報源

- ・牛(生体)をと殺、解体して枝肉とし、輸入枝肉と合わせて部分肉を生産する工程を対象範囲としている。
- ・副産物として生産される、原皮および内臓等のと畜副産物は、価格が食肉に比して極めて安価(1%未満)なのでアロケーションの対象としない。
- ・牛平均体重 702kg、原皮は体重の8.5%の重量で、59.7kg/頭と設定して計算した。なお、原皮は毛付き未乾燥状態である。

農林水産省:“畜産物流通統計”
農林水産省:“食料需給表”
ニッポンハムHP:“食肉事業・処理の環境データ”

・データ作成者コメント

- ・牛平均体重 702kg、原皮は体重の8.5%の重量で、59.7kg/頭と設定して計算した。なお、原皮は毛付き未乾燥状態である。
- ・と畜頭数、枝肉生産量は農水省統計を利用した。また、産連表より肉用牛と廃乳牛の頭数比を求め、その比でと畜頭数を按分した。
- ・輸入枝肉量は、食料需給表より求めた。
- ・歩留まりは農水省畜産部の資料を参考にして次のように設定した。牛枝肉=>牛部分肉 71%
- ・枝肉生産のエネルギー、水の原単位は、ニッポンハムの食肉処理事業所のデータ(HPで公開)を参考にして設定した。
- ・枝肉→部分肉 のエネルギー、水の原単位は、枝肉生産の10%との仮定を置いて計算した。

・適用範囲

日本における牛部分肉の平均的な値である。
国産の牛(生体)をと畜して生産した牛部分肉と輸入牛枝肉より生産した牛部分肉の両方を含む。

・システム境界

資源採取から製品の製造までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含む(投入されるエネルギー及び水、水処理剤を含む)。産廃処理を含まない。枝肉輸入の輸送は範囲に含まない。

・配分

主製品に比べ経済価値が低いので、と畜副産物(原皮等)には配分しない。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、牛枝肉,日本輸入(輸入枝肉)由来のCH4(発生源不特定)、肉用牛由来のCH4(発生源不特定)、牛枝肉,日本輸入(輸入枝肉)由来のN2O、牛枝肉,日本輸入(輸入枝肉)由来のCO2(化石資源由来)、である。

②入出力データ

| 区分 | フロー区分 | 品目名 | 連鎖した品目名 | 公開整理番号 | 数値 | 単位 | 備考 | |
|---------|-------|-----|-------------|----------|----------|----------|-----|-----------------------------|
| ユーティリティ | 中間フロー | 入力 | 電力 | 電力,公共 | JP120001 | 7.71E-02 | kWh | |
| ユーティリティ | 中間フロー | 入力 | 上水 | 上水道 | JP323001 | 8.56E-03 | m3 | |
| ユーティリティ | 中間フロー | 入力 | 燃焼・A重油 | 燃焼・A重油 | JP111016 | 3.08E-02 | L | |
| 資源/原材料 | 中間フロー | 入力 | 輸入枝肉 | 牛枝肉,日本輸入 | | 9.38E-01 | kg | |
| 資源/原材料 | 中間フロー | 入力 | 乳廃牛 | 乳廃牛 | * | 1.41E-01 | kg | 702kg/頭に設定 |
| 資源/原材料 | 中間フロー | 入力 | 肉用牛 | 肉用牛 | JP301021 | 6.68E-01 | kg | 702kg/頭に設定 |
| 廃棄物処理 | 中間フロー | 入力 | 排水 | 工業排水処理 | | 7.42E-03 | m3 | |
| 製品 | 中間フロー | 出力 | と畜副産物(原皮以外) | と畜副産物 | * | 6.82E-01 | kg | と畜副産物(原皮以外)。配分しない |
| 製品 | 中間フロー | 出力 | 牛原皮(毛付き未乾燥) | と畜副産物 | * | 6.52E-02 | kg | 牛原皮(毛付き未乾燥)で59.7kg/頭。配分しない。 |
| 製品 | 中間フロー | 出力 | 牛部分肉 | 牛部分肉 | JP305040 | 1.00E+00 | kg | |